

# つくる フォーラム

事業概要および「**工藝旦那衆の会**・短冊掛け」応募要領

1月23日(月)国立新美術館・公募説明会申込開始：平成29年1月4日(水)～1月21日(土)

**書類審査 募集期間：平成29年1月23日(月)～2月28日(火) 郵送必着**

**書類審査 選考通過者へのご連絡： 3月8日(水)までに行います**

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。(頂いた書類は返送いたしません。ご了承ください)

書類送付先：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・**工藝旦那衆**係」  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

## 事業概要

### 1. つくるフォーラムとは？(事業の趣旨)

「使う目的を明らかに」した様々な「つくる」公募を行うことで、ものづくりの活性化を促す、21世紀的つくり手支援のかたちです。

いままで水面下で行われてきた「お誂え」を、公募し「公開お誂え＝現代の御用達をつくるコンペティション」とし、社会が開かれたものづくりを行っていくことを推進するプロジェクトです。

良きつくり手に、「実際に使う場がイメージできる」ものづくりの場、そして、よき使い手とよき繋ぎ手と協働し、対話しながらものづくりを行う場を提供します。

お誂えをしたい使い手にとっては、発注したくてもこちらの条件を満たしつつ想像力溢れる名品を生むつくり手に出会う機会は、限られています。つくり手にとっても、条件はあるものの単なるOEMではなく、自由な発想を汲み取ってくれ、創造を共に楽しむ発注者に出会う機会は、限られています。

つくるフォーラムでは、発注者がはっきりしている、販売先が確保されているというアドバンテージがあります。これまでの公的な支援体制では、作ってしまってから見本市に出して買い手を探すシステムが多く、せっかく良品を生み出しても販売に直結しにくいことが難点でした。つくるフォーラムではその弱点を乗り越え、つくり手には販売の心配が不要の良質な案件だけを扱います。現代の御用達となるクリエイターを公開募集するプロジェクトです。

## 2. 応募できる人と 審査費用

審査費用は無料です。案件ごとに設置された目的により地域や年齢などの諸条件はありますが、良い作品を広く募集するのが目的ですので、作家、職人、工房、メーカー、プロダクトデザイナー、コーディネーター、スタイリスト、バイヤー、問屋さんなどものづくりにかかわる人ならだれでも応募できます。

募集者の希望する品物の意図を汲み取り、それに合致するものを応募してください。募集者と募集者の定める審査員により、審査され採用されます。「職人+プロダクトデザイナーチーム」「メーカー+コーディネーターチーム」などチームを組んでのご応募も期待します。

## 3. 採用の方針

募集者の意向によって、審査を行い採用が決定します。品物の募集要件をよく読んで、募集者が望んでいる品物を理解し、適切にご応募ください。

第一次審査の審査団は各案件毎、10名の工芸有識者（非公開）が参加します。

## 4. 審査の流れ

第一次審査

**応募フォームによる書類審査**

応募期間 1/23~2/28

募集窓口となる繋ぎ手、総括アドバイザー川越仁恵氏、外部審査員を迎え、選考を行います。

採用通知 3/8 まで

第二次審査

**詳細エスキスや参考作品による審査**

3月後半

結果通知 4月前半

最終審査

**案件毎に異なる審査 試作 or 工房訪問 or 打合せ**

4月—5月 ⇒決定後製作・納品へ

## 5. 応募者の提出物等

### 第一次書類審査 2017年2月28日締切（郵送必着）

<提出するもの 応募フォームのみ>

- ・応募フォームには、
  - a. 氏名
  - b. 連絡先（住所、電話、Fax、メールアドレス）
  - c. これまでの代表作の写真をフォームの貼り付け欄に貼付ください。
  - d. 応募する製品のエスキスあるいは応募したい実物がある場合にはその写真も貼り付け欄に貼付ください。
  - e. 応募した製品の概要。コンセプト、仕組み etc. について記載ください。
  - f. 制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があれば、記載ください。

### 第二次審査（書類審査通過者が受ける審査）

<提出するもの 詳細エスキスと参考作品>

- ・書類審査通過者に、求められるスペックなどをお伝えしますので詳細なエスキスをお送り頂きます。
- ・ご提出いただくエスキスの参考になる作品があればお送りください。
- ・応募費用、出品料は無料です。
- ・参考作品の送料は、応募者各自でご負担ください。
- ・輸送、審査中の破損については、責任を負いかねますので予めご了承のうえご応募ください。
- ・事前に事務局あてに送付内容をお知らせください。
- ・審査終了後、返送する費用は主催者で負担いたします。

### 試作

- ・書類審査、第二次審査の結果を皆さんへ通知します。
- ・通過者には、試作をしてもらう場合があります。
- ・試作をしても万が一採用されなかった場合、  
試作品コスト（請求による。上限2万円。競争率により減額の可能性があります。）が支払われる予定です。

### 最終審査

- ・採用数は一人～複数、案件ごとに異なります。

## 6. 注意事項

- ・活動歴が少ない方には、制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があると採用可能性が高まります。
- ・応募された書類はお返ししません。
- ・応募は無料です。

## 7. 採用作品について

次年度の石川・金沢における「21世紀鷹峯フォーラム」において、どのようなプロセスでのものづくりであったか、紹介展示されます。

## 8. 実際の納品+販売について

本プロジェクトでは、公募の要となり、制作指導から納品までを監督する「繋ぎ手」も重視しています。

審査の段階では費用は無料ですが、めでたくご自身の製品及びアイデアが審査を通過し選出された場合には、募集者への納品、販売に際して、各個販売価格の30%をCOJへ納付願います。繋ぎ手への謝礼および募集に携るCOJの運営費等に充当いたします。

## 9. 審査結果発表

審査日程は案件ごとに異なります。各案件の募集要領をご確認ください。

なお、第一次審査時は採用者にのみ期日内にご連絡いたします。（書類返送はいたしません。）第二次審査以降は、採用または不採用にかかわらず連絡をいたします。第二次審査の作品送付先・期限につきましても案件ごとになりますので、必ずご確認ください。

## 10. 総合監修プロデューサー



東京都美術館「TOKYO CRAFTS & DESIGN」（プロジェクトが2013年グッドデザイン賞を受賞）を推進された川越仁恵氏が本プロジェクトの総合監修を担当されます。

文京学院大学経営学部准教授。専門は工芸技術史、在来産業論。研究成果を社会に役立つプロジェクトとして変換、各地で職人の相談にのり共に解決を目指している。東京の伝統工芸職人×デザイナーのコラボレーションによって新作工芸品を生み出すプロジェクト TOKYO CRAFTS & DESIGN を企画し、2013年度グッドデザイン賞を受賞。

2012年ものづくりフォーラム（経済産業省主催）ジェネラルコーディネーター

日本金銀創作展（東京銀器組合主催）審査員 / 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞（東京都中小企業振興公社主催）審査員 / 新潟市漆器同業組合（国指定伝統的工芸品「新潟漆器」）アドバイザー / 与板打刃物匠会（国指定伝統的工芸品「越後与板打刃物」）クリエイティブ・プロデューサー

## 1. 募集内容について

### 工藝旦那衆の会では、「短冊掛け」を募集します

短冊は、日本独自の文化。気軽に架け替えてお客様をおもてなしできるものでもあります。短冊を架けるには、調度として美しい短冊掛けが重要です。工藝を遊び、使い、支援する工藝旦那衆の会では、品良く、手わざが光り、書画が映える短冊掛けを、あらゆるジャンルの工藝分野から募集いたします。現代のよき作り手のみなさまから、現代の居住空間に向けて、これは素敵だ！とおもわれるものを、是非ご提案いただきたくお待ちしております。

## 2. 応募条件

全国の工芸すべてのジャンルのつくり手のかたからの応募をお待ちしております。個人・工房・団体・メーカーのみなさまが対象です。

- ①機構：短冊の並幅・広幅 両方が嵌められる機構のものをご提案ください
- ②形状：嵌めこみ型の額のようなものでも、掛け軸風の短冊掛け 竹や漆の短冊掛け ガラスや金工、木工… テキスタイルや織物のパネル… 古いもので面白いものがあるのですが、今は短冊が一般的でないのかあまりつくられていないようです。
- ③品良く、手わざが光る作品を希望します。素材はほんもの志向のかたが多いです。
- ④数量：エスキースから工藝旦那衆がひとりひとり選び発注します。現在 30 名ほどのメンバーが在籍。
- ⑤納品希望日：2017年 12月（来年の春迎えに間に合うように）
- ⑥納品価格：50000 円前後をイメージしたものをベースに、いくつか、どうしても高くなるバージョン案がありましたら併せてお示しください。内容によっては購入者が現れます。
- ⑦納品数：納品希望日までには、旦那衆がそれぞれ選ばせていただくため、数量は不確定ですが最大 8 点までのラインになります。

## 3. 1月23日(月)公募説明会について

公募説明会において、より具体的なイメージをお知らせします。公募説明会に参加される場合は、事前の参加申し込みを必ずお願いいたします。

国立新美術館・講堂にて、1月23日(月)

13時～14時45分 講堂にて、募集者が趣旨と概要説明を行います（対象：WEBで参加申込みのあったかた）

15時～16時 各ブースにて 15分刻み・グループで質疑応答（対象：〃）

16時～17時 各ブースにて、個別打合せを行います。ポートフォリオをお持ちいただき、整理券を当日事前におとりください。

#### 4. 工藝旦那衆の会とは

工藝旦那衆の会は、一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパンの特別会員組織です。「工芸」や「日本の良き文化」を護り伝える護り手としての意識をお持ちのかた、感性豊かに良いものに触れたい、と願うかたがたにお集いいただき、楽しく工芸を遊びながら日本工芸を支援できる機会を提供するものです。年に一度、特別な趣向の凝らされた宴と、つくり手を訪ね、ものづくりに触れたり、つくり手とコラボ制作の企画などがあり、またメンバーの「こんなものを探している」を事務局がお手伝いしております。



## 応募方法

---

2017年1月23日(月) 郵送による応募エントリー受付開始

2017年2月28日(火) 受付終了

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入いただき、写真添付のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。

この募集は、納期まで時間がないたため、応募フォームに記載される情報を基に選考されることになります。

なお、お送り頂いた書類は返送いたしません。ご了承下さい。

書類送付先 : 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・工芸旦那衆の会係」

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

## 実施スケジュール

---

時期	内容
1月5日	説明会参加申込+応募フォーム オープン 受付開始
1月23日	【公募説明会 at 新美】開催—募集者による内容説明と、個別打合せ
2月28日	応募フォーム 郵送締切 受付終了
3月前半	【書類審査】 応募フォームによる審査 募集窓口となる繋ぎ手、総括アドバイザー川越仁恵氏、 外部審査員を迎え、10人の工芸有識者による選考を行います。
3月8日	選考後、最終審査に進む方には、ご連絡いたします
3月下旬	【二次審査】 既存の実物や参考作品と詳細エスキスによる審査、即日採用者にはご連絡いたします。
4月	
10月—11月	21世紀鷹峯フォーラム・石川・金沢にて採用作品の制作の流れを紹介
12月	納品

応募者名（会社名 / ブランド名 / 担当者名）

ふりがな

連絡先（〒 / 住所 / 電話番号 / FAX / MAIL / URL）

ふりがな

〒

TEL:

FAX:

URL:

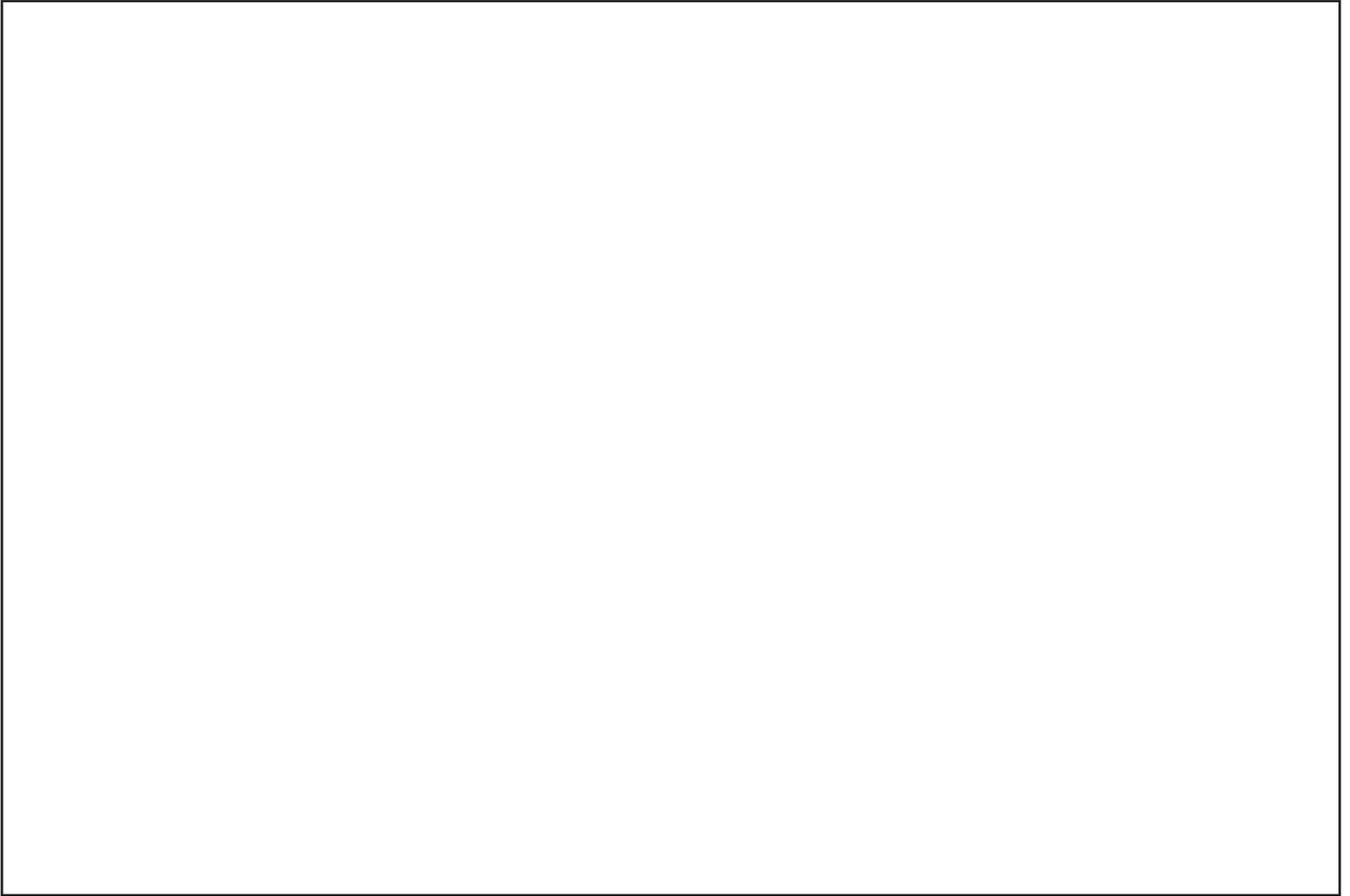
MAIL:

【活動と商品の概要、履歴等ご記入ください】

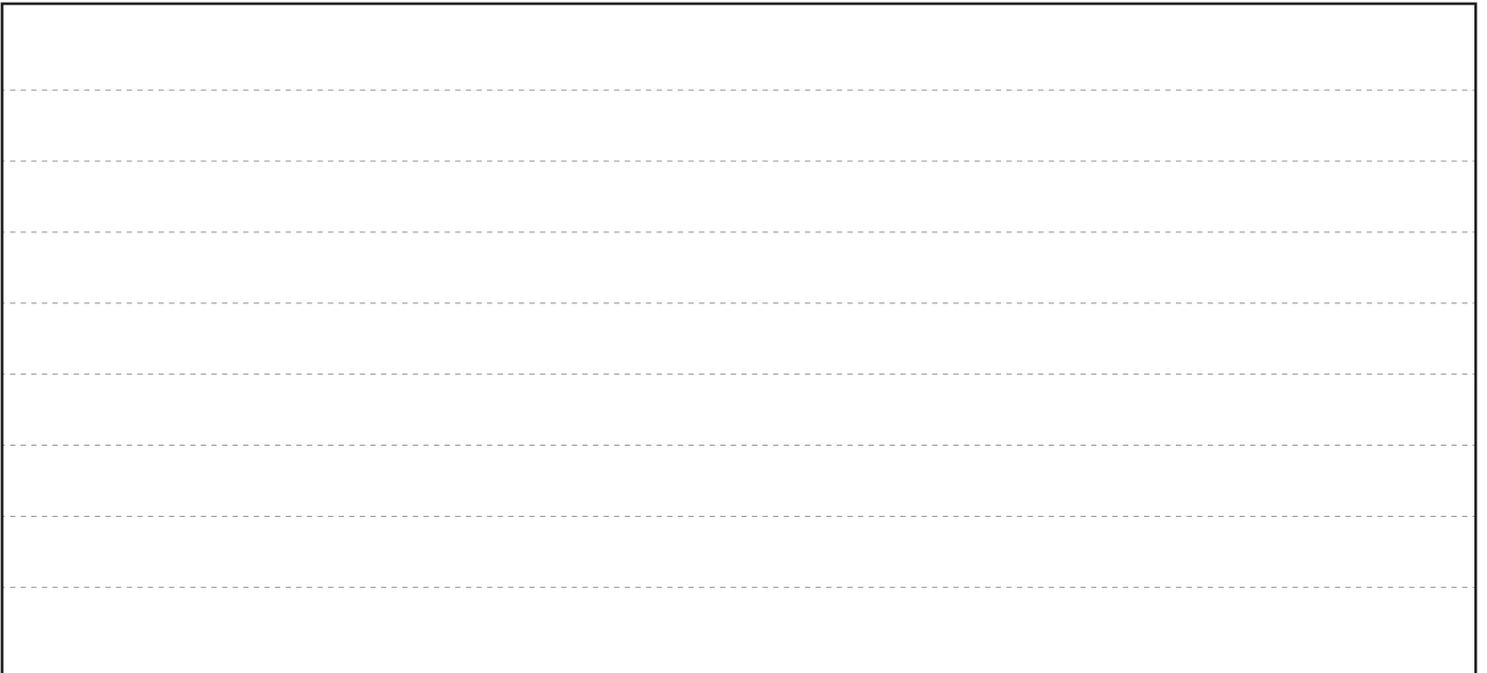
【これまでの代表作の写真を貼付ください】

写真貼付欄

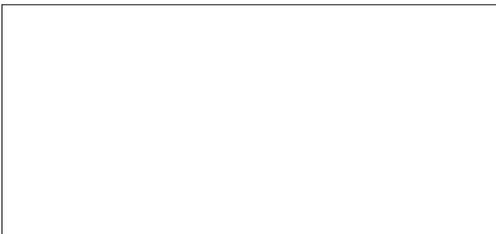
【応募する製品のエキスあるいは応募したい実物がある場合はその写真を貼り付けてください】



【応募する製品の概要、コンセプト、仕組み etc. について記載ください】



※活動履歴が少ない応募者の場合 推薦者



※実際の仕事を完遂できると推薦する理由をご記入ください

